

教育委員会の点検・評価報告書

(平成31年4月～令和2年3月対象)

令和2年9月

館山市教育委員会

点検・評価報告書

1 点検・評価の期間

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

2 点検・評価の方法

第3期館山市教育基本計画（館山市教育大綱）（平成29年度～平成32年度）の事務事業の進捗状況等をもとに点検・評価を行いました。

また、館山市総合計画審議会において、意見を聴取し、点検・評価の客観性の確保に努めました。

3 点検・評価の結果

別紙のとおり

4 点検・評価の一般への公開

館山市ホームページにて公開

【基本目標 1】子育て

互いに助け合い 誰もが健康で いきいきと暮らせるまち

第 1 節 子育て環境の充実

基本方針

- 多様な家族形態や保育ニーズに、きめ細かい対応ができる子育て支援サービスの充実を図ります。
- 地域ぐるみで親子を支える仕組みを構築し、子育てに対する不安や負担を軽減するとともに、安心して子どもを産み育てることができる環境を整備します。

(1) 子育てしやすい環境づくりの推進

計画事業名	事業内容	担当課
子育て支援事業	保護者が必要とする施設や事業等の情報提供や病児・病後児保育事業の実施により、子育て支援を推進します。	こども課
【実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者支援員の配置を継続し、こども課窓口や地域の子育て支援事業等の利用に関し、寄り添い型の支援を実施しました。 ・病児・病後児保育事業を委託により実施しました。 	
【成果と課題】 【○成果 ▲課題】	<p>○利用者支援員により、子育てのサービスが円滑に利用できるような身近な場所で、子育て支援の情報提供及び必要に応じた相談ができるようになりました。 (対応件数：780件)</p> <p>▲利用者支援員の複数配置を目指した人材育成が課題です。</p> <p>○子どもが病気等で自宅での看護ができない場合に、一時的に保育を行う病児・病後児事業を利用することで、保護者の仕事と子育ての両立を支援しました。 (述べ458人)</p> <p>▲コロナ禍において、安心安全な利用ができるよう「新しい生活様式」の確立が必要となります。</p>	

幼稚園・こども園における保育サービスの充実	預かり保育の充実を図るとともに、私立幼稚園に対する運営支援を行います。	こども課
【実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> ・北条幼稚園において、預かり保育を実施しました。 ・市内私立保育園4園及び私立幼稚園1園に対し、補助金を交付し運営費等の支援を行いました。 	
【成果と課題】 【○成果 ▲課題】	<p>○幼児保育の無償化により北条幼稚園の預かり保育も無償となりました。保育の必要な子どもの受け皿が増え、待機児童の減少につながりました。</p> <p>○私立保育園や私立幼稚園に対し、補助金等を交付したことに</p>	

	<p>より、教育・保育サービスの維持及び拡大を図ることができました。</p> <p>▲多様化する保育ニーズへの対応及び検討が必要です。</p> <p>▲特別な支援が必要な園児の増加に伴う保育士等の負担軽減が必要です。</p> <p>▲全国的な保育士不足により、産休等に伴う代替保育士の確保が困難な状況となっています。</p>
--	--

幼児教育の充実	北条幼稚園の幼稚園型認定こども園への移行について検討するとともに、私立幼稚園及び私立保育園に通う保護者に対する支援を行います。	こども課
【実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育の無償化制度の開始にあわせ、北条幼稚園において預かり保育の無償化を始めました ・新制度に移行しない私立幼稚園に通う保護者に対し、私立幼稚園就園奨励費を助成するとともに、幼児教育の無償化制度の開始後は、幼稚園利用料等の負担を軽減しました。 	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○預かり保育を実施したことにより、保育の必要な子どもの受け皿が増え、待機児童の減少につながりました。</p> <p>○私立幼稚園就園奨励費の助成及び無償化開始後の利用料の支給により、保護者へ経済的支援を行いました。</p> <p>▲共働き世帯の増加等の影響により保育所等のニーズが高まり、幼稚園への就園率が低くなっていることにより、幼稚園での集団教育・保育の提供が困難となっています。</p> <p>▲支援の必要な園児が増えているため、専門職員や施設整備が必要となっています。</p>	

元気な広場運営事業	子育て親子の交流や世代間の交流、子育てに関する相談及び情報提供を通じた子育ての不安解消を図るため、子育て支援拠点「元気な広場」の運営及び「出張子育てひろば」の実施とともに、会員間の相互援助活動を支援するファミリー・サポート・センター事業を推進し、子育て支援ネットワークの拡充に努めます。	こども課
【実施状況】	<p>元気な広場及びファミリー・サポート・センター事業の運営は、指定管理により実施しています。親子が安心して利用できる癒しの空間や、子育ての情報を入手できる講座及び育児相談等の企画を提供しています。</p> <p>また、利用者やボランティアが主体となった多彩な企画や、関係機関が連携した様々な講座も開催しました。</p>	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○親子が安心して利用できる癒しの空間の他、子育ての情報を入手できる講座や育児相談の企画を提供することにより、子育てへの不安の軽減が図られています。</p> <p>元気な広場利用者数 延べ 19,203 人</p> <p>出張子育てひろば利用者数（船形，九重，房南）延べ 452 人</p> <p>ファミリー・サポート・センター事業活動件数 延べ 136 件</p> <p>▲コロナ禍によりファミリー・サポート・センター事業の活動がしにくい状況にあります。活動方法が課題です。</p> <p>▲出張子育てひろばのあり方について、利用率が低くなってい</p>	

	ることが課題です。
--	-----------

学童クラブ運営事業	小学校下校後に保護者が家庭にいない留守家庭児童の健全育成と安全確保のため、公設化等による安定的で質の高い学童クラブの運営に努めます。	こども課
【実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> ・公設学童クラブを運営委託により実施するとともに、保護者会が運営する学童クラブへ運営費の補助を行いました。 ・夏休み利用者のニーズの増大に対し、定員拡大が可能となるよう調整を行いました。 ・3月に新型コロナウイルス感染症の影響により、学校が休校になった際も、家庭の状況を考え、学校と協力しながら終日に渡って円滑に学童保育を開設することができました。 	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○放課後に児童が安心して生活できる居場所の確保と、次世代を担う児童の健全な育成の支援に繋がりました。</p> <p>▲公設学童クラブは良好な運営状況とニーズの高さにより、利用希望者の増大とその対応が課題です。</p>	

(2) 子育て家庭への支援の充実

計画事業名	事業内容	担当課
児童虐待防止ネットワーク事業	要保護児童対策地域協議会を中心に、関係機関との連携や情報の共有化に努め、児童虐待への対応や、虐待を未然に防止するためのネットワーク体制の強化を図ります。	こども課
【実施状況】	令和元年度は、実務者会議を6回、個別支援会議を4回実施しました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○関係機関と密接な連携により、虐待が疑われる事案等に対しては、早急に対応を図ることができました。</p> <p>▲虐待を未然に防ぐため、情報共有化を含めた更なるネットワーク体制の強化が必要です。</p> <p>▲要保護児童対策地域協議会に参加していない、他の教育関係機関等との連携についても拡大を図る必要があります。</p>	

(3) 子育て環境の整備

計画事業名	事業内容	担当課
保育園・幼稚園・こども園の整備充実	老朽化した施設の耐震性の確保や備品類の計画的な整備を行うとともに、北条地区及び那古地区のこども園化を検討します。	こども課 建築施設課
【実施状況】	<p>建物の改修や遊具の更新により園児の保育環境の改善を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全幼稚園保育室等空調機設置工事 ・館野・中央保育園空調機設置工事 ・九重こども園・館山幼稚園すべり台設置工事 ・純真・館野保育園遊具設置工事 ・房南こども園 幼児用トイレ汚水管改修工事 	

<p>【 成果と課題 】 〔○成果 ▲課題〕</p>	<p>○全公立幼稚園の保育室等に空調機設置工事が完了し、保育環境の改善が図られました。 ○施設の改修工事や遊具の更新工事を実施したことにより、園児の安全が確保され、適切な園運営を行うことができました。 ▲老朽化した施設の将来的整備や子どもの人数の減少を考慮した施設の適正規模や運営形態について検討が必要です。</p>
--------------------------------	--

<p>保育園・幼稚園・こども園における安全対策の充実</p>	<p>園児の安全を確保するため、食物アレルギー対策や施設管理の充実、安全体制の強化を図ります。</p>	<p>こども課 建築施設課</p>
<p>【 実施状況 】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員に対し、アレルギー等に対する情報提供を行い、アレルギー対策への周知徹底を図りました。 ・生活管理指導表の導入により、状況が整理され、対応件数が減少しました。 ・施設や遊具等の定期的な点検を行い危険要因の除去を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・館山幼稚園遊具撤去工事 ・中央保育園渡り廊下屋根改修工事 ・施設等の日常的な点検及び職員への意識啓発を行いました。 ・家庭・地域と連携した避難訓練を実施しました。 ・園に対し、不審者情報等の提供を行いました。 	
<p>【 成果と課題 】 〔○成果 ▲課題〕</p>	<p>○多様化するアレルギーに対し、情報を共有することができました。 ○危険遊具の撤去や老朽化施設の改修により、園児の安全が確保されました。 ○施設等の点検や避難訓練の実施により、園児の安全が確保されました。 ▲多様化するアレルギー等について、個別に適切な対応ができるよう情報共有及び対策が必要です。 ▲危険箇所等の改修を行うため、予算の確保が必要です。 ▲災害や犯罪等から園児を守るため、関係団体等との更なる連携・協力体制の強化が必要です。</p>	

【基本目標2】教育・文化

地域への誇りと愛着を持ち 心豊かな人材が育つまち

第1節 学校教育の充実

基本方針

- 「生きる力」を育成するため、「確かな学力・豊かな心・健やかな心」を育てる教育活動を推進します。
- 地域資源・地域人材を活用した特色のある教育を推進します。
- 子どもたちの可能性を伸ばすことのできる教育環境の整備・充実に努めます。

(1) 「生きる力」を育成する教育の推進

計画事業名	事業内容	担当課
「生きる力」を育成する教育の推進	学力向上プロジェクト委員会の充実や学力向上推進コーディネーターの有効活用などにより、小中一貫した教育活動を推進します。	教育総務課
【実施状況】	・中学校区ごとに小中学校が連携し、学力向上プロジェクト委員会を設置し「確かな学力」を育むための研究を実施するとともに、情報交換を行う機会を設けました。 ・一中、二中、三中学区に学力向上推進コーディネーターを配置しました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○学力向上プロジェクト委員会や学力向上推進コーディネーターの活用により、学力面だけでなく、生徒指導面においても小中学校の連携が深まりました。 ▲学校教育における総合的な課題として、教職員の負担軽減のための方策が挙げられます。	

福祉・環境・キャリア教育の推進	学校での指導や職場体験学習を通じ、豊かな人間性や社会性をはぐくみながら、変化の激しい社会の中で、たくましく生きる力を育成します。	教育総務課
【実施状況】	・全小中学校で児童生徒の職場体験を実施しています。小学校においては「ゆめ・仕事ぴったり体験」として各校独自に実施しており、中学校においては「チャレンジ感動 in 館山」として中学2年生が職場体験を実施しました。 ・幼児とふれあう機会を設定し、中学生が福祉の心を育てる事業を実施しました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○教科以外での様々な体験活動を通じて、児童生徒自身が将来の自分を考えるきっかけ作りができています。 ▲職場体験の受入事業所等を様々な職種に広げていく必要が	

	あります。
--	-------

国際理解教育の推進	小・中学校に英語指導を行う外国語指導助手（ALT）を配置し、国際感覚豊かな児童生徒の育成に取り組みます。	教育総務課
【実施状況】	民間委託による外国語指導講師（ALT）を小学校に3名、中学校に2名配置しました。学習指導要領改訂に伴い、小学校での外国語教育が教科化されることを踏まえ、平成30年度から小学校の外国語指導講師派遣人数を1名から3名に増員しています。	
【成果と課題】 【○成果 ▲課題】	○授業でネイティブな発音を聞くことができたり、ALTの出身国の文化を知ることができました。授業中だけでなく、校外活動等の場でも、外国人とコミュニケーションを図ることができました。 ▲令和2年度から小学校での外国語教育が教科化されることに伴い、教員の授業力等の向上が課題となっています。	

情報（モラル）教育の推進	高度化する情報社会の中で、健全かつ有効に情報を活用していくための正しい知識と技術の習得、適切な判断力・活用力の育成を図ります。	教育総務課
【実施状況】	・各授業において、調べ学習などを行う際、校内設置のパソコンを活用するなど、情報知識や技術の習得を推進しています。 ・情報モラルについて校内研修を行うとともに、講師を招聘し、児童生徒を対象とした講演会を開催するなど携帯電話やインターネットなどの活用方法に関する指導を行っています。	
【成果と課題】 【○成果 ▲課題】	○児童生徒の情報機器等の活用能力が向上しています。 ▲教職員のICT機器等を活用した指導技術を高める手立てが必要です。	

学校における食育の推進	栄養や食習慣に関する正しい知識を指導し、児童生徒の健全な育成を図ります。	学校給食センター
【実施状況】	栄養教諭が各小中学校に出向き、食に関する指導として、食事の重要性や、身体の成長に大きな役割があることについて指導をしましたが、台風被害以降は学校給食の調理を停止しているため、学校給食を通じた食育の指導は減少しましたが、給食参観を通じて現状把握に努めました。	
【成果と課題】 【○成果 ▲課題】	○食事の重要性を理解し、食事のマナーを守り、楽しく会食することができました。 ▲台風被害以降は学校給食の調理を停止しており、簡易給食として提供したため、栄養バランスを考慮した献立が組めないこと、学校給食を通じて食育の指導ができない状況であるため、新給食センターが稼動した際は事故なく円滑な運営を心がけ、安全な学校給食を提供していきます。	

小・中学校体育振興の推進	陸上競技大会の開催や県中学校総合体育大会等への参加促進により、児童生徒の体育実技及び体位・体力の向上を図ります。	教育総務課
--------------	--	-------

【実施状況】	館山市小中学校体育振興会に業務を委託し、児童生徒の体育振興を目的とした事業を実施しました。 ① 小学校体操教室 ② 小学校陸上競技大会 ③ 千葉県中学校総合体育大会参加 ④ 千葉県中学校新人体育大会参加
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○各種大会への参加を通じて、小中学生の体力、競技力の向上が図られています。 ◆少子化に伴い、体育授業での団体競技の実施、中学校においては部活動の維持が難しくなっている現状があります。

生活習慣病予防検診事業	生活習慣病の早期発見や適切な指導のため、児童生徒に対する検診を実施し、疾病の減少及び予防を図ります。	教育総務課
【実施状況】	小学校5年生及び中学校2年生を対象として検診を実施、有所見者に対して説明会を開催し、個別指導を行いました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○有所見者の個別指導を行うことにより、生活習慣改善に向けた具体的な取組を伝えることができました。	

特別支援教育体制の推進	障害のある児童生徒への一貫した教育相談と支援体制を充実させるため、関係者・関係機関とのネットワークの構築を図ります。	教育総務課
【実施状況】	・特別な支援を要する児童生徒の学習及び生活支援等を行うため、幼稚園・小中学校に特別支援教育学習支援員を配置しました。 ・特別な支援を要する幼児が、円滑に小学校生活に移行できるよう、各園において保護者との教育相談を行いました。 ・館山市教育支援委員会専門家チームによる巡回相談を実施するとともに、医療機関をはじめ、庁内関係課、民間事業者との連携を強化しています。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○特別支援教育学習支援員の配置により、児童生徒の学習等の支援だけでなく、教職員指導補助も行うことで、負担軽減に繋がっています。 ○関係機関との連携を強化することにより、継続的、多角的に児童生徒及び保護者の支援を行うことができました。 ▲支援を必要とする児童生徒が増加しているため、校内、園内の相談体制の充実、また、支援員の増員が必要です。	

教育相談体制の充実	子どものさまざまな悩み（学力や人間関係、いじめ等）に対する教育相談体制の充実を図ります。	教育総務課
【実施状況】	・平成30年度に設置した教育支援センターを運営し、不登校児童生徒の支援を行いました。 ・スクールカウンセラー配置校を中心に、小中学校の教育相談体制の充実を図るとともに、適応指導委員会や生徒支援委員会に参加してもらい、児童生徒への対応について助言を頂きました。	

	<ul style="list-style-type: none"> ・各校で教育相談日を設け、子供の悩みなどのサインを見逃さないよう努めました。 ・長欠対策主任研修会を実施し、長欠児童生徒の現状を把握し、その解消に努めました。 ・中学校区生徒指導連絡会議を実施し、小中連携した課題について情報の共有を図りました。 ・児童生徒を対象として、心理テスト(hyper-QU)を実施し、その結果をもとに個別指導にあたりました。
【成果と課題】 【○成果 ▲課題】	<p>○教育支援センターが設置されていることにより、不登校児童生徒の学習支援等を行うことができました。</p> <p>○心理テストを実施し、客観的・多面的な診断結果によって、学級状態の把握、児童生徒の理解が深まりました。</p> <p>▲長欠、不登校の児童生徒の解消に向け、更なる手だてが必要です。</p>

安全対策の充実	災害・事故等に対する安全指導と、緊急時への備えを行い、児童生徒の安全確保に努めます。	教育総務課
【実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> ・学校危機管理マニュアルの見直しを適宜行い、各校において教職員の危機管理意識の向上を図っています。 ・安全対策主任研修会を実施し、生活安全・交通安全・災害安全について自校の取組状況の評価を行いました。 ・通学路危険箇所について、館山市通学路交通安全プログラムに基づき、関係機関と連携し、危険箇所の改善に取り組んでいます。 	
【成果と課題】 【○成果 ▲課題】	<p>○交通安全だけでなく、防災、防犯の視点からも通学路を点検することで、通学路の安全対策が進んでいます。</p> <p>▲通学路の安全対策については、学校職員だけでは対応が困難なことから、保護者、地域住民、関係機関等との更なる連携が必要です。</p>	

教職員研修の充実	教職員の資質・力量の向上を図り、特色ある教育活動を推進します。	教育総務課
【実施状況】	年間を通じて、職務別研修、事務分掌・教科別研修を実施しました。	
【成果と課題】 【○成果 ▲課題】	<p>○生徒指導上の諸課題や学級経営、また、特別支援教育、外国語教育、学校事務に関する知識が広まりました。</p> <p>▲研修機会の増加による教職員の業務削減とのバランスが課題です。</p>	

(2) 教育活動の充実

計画事業名	事業内容	担当課
特色ある学校づくり	地域資源・地域人材を活用した学習を推進し、児童生徒の地域への誇りと愛着心を高めます。	教育総務課
【実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校6年生、中学校2年生が歴史副読本「さとみ物語」を活用した授業を実施しました。 ・社会科、生活科、総合的な学習の時間において、地域につい 	

	<p>での学習を推進しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の地場産業を体験することにより、自分たちの住んでいる地域の特徴や良さを知ることができました。 ・地域の方々を外部講師として招き、地域ならではの学習を推進しました。
<p>【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕</p>	<p>○歴史副読本「さとみ物語」を活用した学習により、館山という地域を再発見することができました。</p> <p>○社会科、生活科、総合的な学習の時間では、地域への理解や良さを学ぶ機会になりました。</p> <p>○地域の地場産業の学習や地域の特徴を知るための、地域の方々を先生とする学習の取組は、児童生徒にとって興味関心を高める良い機会になっています。</p> <p>▲地域人材の活用について、協力してくれる人材の高齢化があり、新たな人材を確保する必要があります。</p>

<p>芸術・文化による豊かな心の育成</p>	<p>児童生徒へ優れた芸術に接する機会を提供し、豊かな心の育成を図ります。</p>	<p>教育総務課</p>
<p>【実施状況】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生を対象に千葉交響楽団による「館山市音楽鑑賞教室」を開催しました。（隔年開催） ・館山市文化祭「子ども音楽会」を開催しました。 ・国、県、各種団体の文化芸術に関する事業を小中学校に紹介し、各校の状況に応じて活用しました。 	
<p>【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕</p>	<p>○音楽祭や学芸展などの文化活動を通じて、児童生徒の豊かな心の育成に繋がっています。</p> <p>◆地域性により、多様な芸術、文化に触れる機会が多くありません。</p>	

(3) 就学・通学への支援

計画事業名	事業内容	担当課
<p>就学費援助事業</p>	<p>経済的な理由により、就学が困難な児童生徒に対し、学用品費や給食費等の援助を行います。</p>	<p>教育総務課</p>
<p>【実施状況】</p>	<p>要保護及び準要保護児童生徒に対し、就学援助費（学用品費、校外活動費、学校給食費等）を支給しました。</p> <p>※令和元年度実績 3月末現在認定者数 【要保護】（小）8名、（中）8名 【準要保護】（小）167名、（中）109名 支給額（小）12,848,733円、（中）12,833,011円</p>	
<p>【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕</p>	<p>○経済的理由で就学が困難な児童生徒への援助により、保護者負担が軽減され、教育の機会均等を保つことに資しています。</p> <p>▲要保護・準要保護児童生徒が増加傾向にあります。 （平成25年5月8.04% → 令和2年3月9.66%）</p>	

<p>ふるさと創生奨学資金貸付事業</p>	<p>経済的理由により、義務教育終了後の就学が困難な生徒に対し、奨学資金の貸付を行います。</p>	<p>教育総務課</p>
-----------------------	---	--------------

【実施状況】	<p>経済的理由で高校・大学等に進学することが困難な者に対して奨学資金を貸し付けることにより、就学の機会を失することなく、地域の将来を担う有為な人材を育成するための援助を行っています。</p> <p>※令和元年度実績 3月末現在貸付者 24名 3月末現在返還者 39名</p>
【成果と課題】 【○成果 ▲課題】	▲経済的支援が重要となっている一方、奨学資金の返還が滞っている者への督促が課題となっています。

遠距離通学支援事業 (スクールバス運行事業・通学費補助事業)	学校統合により、遠距離通学となった地域の児童生徒に対する通学支援を行います。	教育総務課
【実施状況】	平成29年度事業から制度を見直し、遠距離通学費の無償化と共に、スクールバスを購入し、児童生徒の安全な通学に資しています。	
【成果と課題】 【○成果 ▲課題】	○遠距離通学に伴う保護者の負担軽減が図られました。 ○市が所有するスクールバスを運行することにより、通学時の児童生徒の安全性が高まりました。	

(4) 教育環境の整備・充実

計画事業名	事業内容	担当課
学校施設の整備充実	学校施設の耐震化を図るとともに、防音対策など、学習環境向上のための施設整備や、老朽化した学校施設の改修を行います。	教育総務課 建築施設課
【実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> ・市内全小中学校の普通教室・音楽室空調機設置工事が完了しました。 ・船形小学校講堂及び西岬小学校講堂の二次部材（天井材等）耐震改修工事が完了しました。 ・台風被害に対し、仮復旧緊急修繕を実施するとともに、翌年度にかけて本復旧工事に取り掛かりました。 ・第三中学校生徒の安全確保対策の一環として、第二中学校校舎の改修工事を実施しました。 	
【成果と課題】 【○成果 ▲課題】	○空調機の設置工事が完了し、教育環境の改善が図られました。 ○船形小学校講堂及び西岬小学校講堂の二次部材（天井材等）耐震改修工事が完了し、建物本体（構造体）の耐震性と合わせて安全性が確保されました。 ▲第三中学校校舎耐震化完了（令和2年度末：校舎使用停止）まで、生徒・教職員等利用者の安全確保対策が必要です。	

学校給食センターの整備・運営	安全かつ安定した学校給食の提供を図るため、新センター建設に向けた取組を進めます。	学校給食センター
【実施状況】	経費の節減と財政負担の平準化などにメリットがあるとされるPFI手法の導入に切り替え、PFI事業者を決定し令和2年度中の稼働に向け施設整備を実施しています。	

<p>【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕</p>	<p>○食数規模の減少及び1日の献立を、これまでの2献立から、小・中学校及び幼稚園が同一の献立としたことで、建築面積の縮小や厨房機器を集約し事業費の削減に努めました。 ▲PFI事業による施設整備を進めていますが、台風被害及び新型コロナウイルスの影響により工期に遅れが生じました。現施設においても台風被害を受け、給食の調理を停止していることから、保護者等への負担が増加しました。</p>
------------------------------	--

<p>学校用教材備品の整備</p>	<p>新学習指導要領に基づく備品を計画的に整備し、快適な学習環境と教育効果の向上に努めます。</p>	<p>教育総務課</p>
<p>【実施状況】</p>	<p>学校備品の更新や必要な教材を購入し、教育環境の向上を図りました。 ※令和元年度実績 小学校 14,763,380円 中学校 9,166,707円</p>	
<p>【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕</p>	<p>○令和元年度は、概ね各校要望どおりの備品を整備することができました。 ▲厳しい財政状況の中、計画的な整備が困難となっています。</p>	

<p>少子化に対応した教育環境の向上</p>	<p>「館山市学校再編基本指針」に基づき、教育環境の向上を目的とした中・長期的な学校再編の検討を行います。</p>	<p>教育総務課</p>
<p>【実施状況】</p>	<p>今後の小中学校の在り方を検討するため、平成30年11月に館山市学校再編調査検討委員会を設置し諮問を行いました。検討委員会からは令和2年度中に答申をいただく予定です。</p>	
<p>【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕</p>	<p>○検討委員会からの答申を踏まえ、令和2年度中にパブリックコメント等を実施し、保護者、市民の理解を得ながら、将来的な学校施設の規模、配置に関する方針を策定する予定であり、少子化に対応した教育環境の向上に繋がることが期待できます。</p>	

<p>学校区コミュニティの形成</p>	<p>地域との連携協力により、次世代を担う児童生徒を、地域を挙げて育てる体制づくりを行います。</p>	<p>教育総務課</p>
<p>【実施状況】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価を実施し、その結果について、分析を行うとともに保護者や地域に公開しています。 ・定期的に学校評議員会議を開催し、学校運営状況を説明するとともに学校運営の改善について検討を重ねています。 ・学校行事等を保護者や地域に知らせるとともに、その参加を依頼し、学校の取組や様子を知らせています。 ・ホームページやブログを活用し、各校の情報を発信しています。 ・児童生徒の安全確保、また、日頃からの見守り体制を構築するため、安心安全サポーター（地域見守り隊）の方々と定期的に情報交換を行っています。 ・各校で教育ミニ集会を開催するなど、次代を担う子供たちのより良い成長について地域の方々と考えています。 	

【成果と課題】 【○成果 ▲課題】	○学校便り、ホームページやブログ等により、学校行事や取組内容について、地域等に対し情報発信が図られました。 ▲学校評議員、安心安全サポーター等、学校活動に協力をいただいている地域人材の高齢化が課題です。
----------------------	--

情報教育環境の整備	時代に沿ったICT環境の整備により、情報通信技術を活用した効果的な指導や学習を行います。	教育総務課
【実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> ・授業において、インターネット上の情報を紹介するなど、ICT機器を活用しています。 ・電子黒板等のICT機器を活用し、分かりやすい指導を行っています。 	
【成果と課題】 【○成果 ▲課題】	○ICT機器を活用することにより、児童生徒に対し、身近で具体的な事例を示すことができます。また、電子黒板の活用により、分かりやすく理解の深まる授業が実践できました。 ▲ICT環境整備に合わせて、教員のICT機器を利活用する技術の向上を図る必要があります。	

第2節 青少年の健全育成強化

基本方針

<ul style="list-style-type: none"> ● 体験講座の開催や青少年育成事業の支援等により、子どもたちへの郷土への誇りや愛着心、生きる力をはぐくむための機会を充実します。 ● 地域の人や異学年との関わりの中で、青少年が社会性や規範意識等を身に付け、心豊かで健やかにはぐくまれる環境づくりを推進します。
--

(1) 青少年の健全育成

計画事業名	事業内容	担当課
青少年健全育成体制の充実	P T Aや子ども会、青少年相談員、各種社会教育関係団体の自主的な活動に対して支援を行い、青少年の健全育成を図ります。	生涯学習課
【実施状況】	青少年の健全育成のため、子ども会育成会連絡協議会事業や青少年相談員連絡協議会等への補助を行いましたが、台風被害や新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施できない事業がありました。	
【成果と課題】 【○成果 ▲課題】	○各種事業への補助を実施することにより、市内児童等に対し様々な体験学習機会を提供できました。 ▲少子化や児童・生徒のライフスタイルの変化による参加者の減少や、地域コミュニティの変化による子ども及び子ども会加	

	入者の減少が懸念されます。
--	---------------

放課後子供教室の推進	勉強やスポーツ、文化活動、遊びなど、さまざまな体験を行うことができる放課後子供教室を実施します。	生涯学習課
【実施状況】	放課後子ども総合プランに基づき、放課後等に小学校の余裕教室等を使用し、市内全小学校（10校）で放課後子ども教室を実施しましたが、台風被害により、数回中止しました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○児童が放課後等に地域住民や異学年の児童と交流することで豊かで健やかに育まれる環境作りが図られました。 ▲学力向上を視野に入れた学校教育との連携や学童クラブとの連携など、内容の充実を図る必要があります。	

ふるさと体験活動の推進	子どもたちの郷土への愛着心、生きる力をはぐくむため、自然や歴史、文化、農業体験等、幅広い分野の体験講座を開催します。	中央公民館
【実施状況】	親子を対象に「たてやまワクワク探検隊」で、ホタル観察を実施、「沖ノ島探検隊」では、島内に生息する貴重な動植物の見学をし、「ふるさと館山」の自然に触れ合う機会を提供しました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○体験活動を通じて、館山の自然の豊かさ、良さを認識することができました。 ▲参加対象者が成長し、対象世代は変わっているが、体験メニューがマンネリ化傾向にあります。 ▲事業内容が自然体験教室に偏っています。	

第3節 生涯学習の推進

基本方針

- 多種多様な生涯学習機会を提供するため、博物館・図書館・公民館のさらなる充実を図ります。
- 市民の自主的な学びやサークル活動を支援するとともに、生涯学習ボランティア制度の活用を通じて、市民の豊富な知識や経験を地域社会に還元してもらうための取組を推進します。

(1) 学習機会の提供

計画事業名	事業内容	担当課
生涯学習講座・教室の開催	豊かな地域資源を活用し、多様な学習機会の提供により、市民の自主的な学習活動を促進します。	中央公民館 図書館
【実施状況】	<p>【中央公民館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成人講座、家庭教育講座、青少年講座を実施しました。 ・地区公民館において、地域のニーズに配慮し、講座を実施しました。 <p>【図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ティータイム朗読会」「大人のためのおはなし会」「大人限定わらべうたの会」などの本や文学の多様な楽しみ方を提案する事業を行いました。 ・図書館の郷土資料を活用し、地域の歴史についての興味や理解を深める講座として、ウィキペディアタウン in 館山を開催しました。 	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>【中央公民館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○講座の開催により、市民に対して様々な生涯学習の機会を提供することができました。 ▲参加者の多くが高齢者であり、勤労者世代の参加者が少なくなっています。 <p>【図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域への興味・関心を深める機会を提供するとともに、図書館資料の活用につなげることができました。 ▲利用者のニーズを把握し、図書館と図書館資料の更なる活用につながる事業を企画・実施していく必要があります。 	
家庭教育事業の推進	家庭教育学級や子育て支援講座等の実施による家庭教育の知識向上と、子育てについての情報提供・相談窓口の充実により、家庭教育力の向上を図ります。	中央公民館

【実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> ・「家庭教育学級」の開設支援や子育て支援講座「ハッピーファミリー」を実施しました。 ・家庭教育や子育てに対する相談窓口の運営を行いました。
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○家庭教育学級などの事業を通じて、家庭教育力の向上、保護者同士の交流や情報交換の場を提供することができました。</p> <p>▲家庭や青少年、児童を取り巻く問題が複雑化、深刻化していることへの対応が困難になっています。</p>

児童サービスの充実	<p>子どもの発達段階に対応した魅力的な書架づくりと、おはなし会の開催など児童と本を結びつけるきっかけづくりを行い、本の楽しさに触れられる機会を提供します。</p>	図書館
【実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児・児童を対象に、豊かな想像力と語学力が育まれるよう読書支援の一環として、「おはなし会」「わらべうたの会」の開催や「ハッピーバッグ」（本の福袋）の貸出を行いました。 ・子どもの視野を広げ、図書館の活用につながる事業として、図書館・博物館合同企画「なつやすみ宿題大作戦」を実施しました。 ・乳幼児とその保護者を対象として4か月健診時に、絵本の読み聞かせを行う「赤ちゃん絵本のふれあい」事業や図書館を利用しやすくする環境整備として、キッズタイムを実施しました。 	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○行事を通じて、本と親しむきっかけづくりとしての読書支援や図書館の活用・理解を促進する機会を提供することができました。</p> <p>○乳幼児とその保護者への働きかけや利用しやすい環境を整えることで、誰もが使いやすく親しみやすい図書館づくりにつながっています。</p> <p>▲中高生年代への読書支援として、「ティーンズコーナー」を設置し、資料整備を行っていますが、読書の楽しさや面白さを伝えられる取組みを行っていく必要があります。</p>	

図書館機能の充実	<p>市民の課題解決に役立つ図書を収集するとともに、資料の効率的な整理やインターネットによる蔵書検索・予約等のサービス提供、調べ方の案内や資料に関する情報の提供により、市民の多様なニーズに対応します。</p>	図書館														
【実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の購入や寄贈の受入を行い、利用に供するとともに、資料を基に利用者への貸出や調査相談を行いました。 <p><令和元年度></p> <table border="0" data-bbox="619 1693 1102 1872"> <tr> <td>所蔵資料点数</td> <td>159,083点</td> </tr> <tr> <td>資料購入点数</td> <td>2,995点</td> </tr> <tr> <td>資料寄贈受入点数</td> <td>619点</td> </tr> <tr> <td>資料貸出点数</td> <td>117,076点</td> </tr> <tr> <td>レファレンス受付件数</td> <td>1,976件</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館システムを用い確実な資料管理に努めるとともに、インターネット検索・予約等で利用者の利便性を図りました。 <p><令和元年度></p> <table border="0" data-bbox="619 1984 1166 2045"> <tr> <td>予約総件数</td> <td>5,691件</td> </tr> <tr> <td>うちインターネット予約件数</td> <td>3,224件</td> </tr> </table>		所蔵資料点数	159,083点	資料購入点数	2,995点	資料寄贈受入点数	619点	資料貸出点数	117,076点	レファレンス受付件数	1,976件	予約総件数	5,691件	うちインターネット予約件数	3,224件
所蔵資料点数	159,083点															
資料購入点数	2,995点															
資料寄贈受入点数	619点															
資料貸出点数	117,076点															
レファレンス受付件数	1,976件															
予約総件数	5,691件															
うちインターネット予約件数	3,224件															

	<p>・幅広いジャンルの図書館資料に利用者が触れられるよう、様々なテーマでの企画展示を行いました。</p>
<p>【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕</p>	<p>○時季の話題に関する資料展示を定期的に行い、市民の読書への関心と興味の幅を広げることにより、図書館利用の促進を図りました。</p> <p>▲経年の資料の蓄積により、収蔵能力が限界を迎えています。</p> <p>▲地域特性や利用ニーズを的確にとらえ、資料整備の充実を図っていくために、継続した専門職の人材配置が必要です。</p> <p>▲災害発生時や感染症対策への対応の見直しが課題です。</p>

(2) 学習活動の支援

計画事業名	事業内容	担当課
サークル活動の支援	<p>新たなサークル参加者を増やすための活動や自主的なサークル活動の支援を行い、サークル活動の活性化を図ります。</p>	中央公民館 博物館
【実施状況】	<p>【中央公民館】 中央公民館サークル連絡会の活動支援や協働事業を実施しました。サークルフェスティバルに向けて準備をすすめていましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となりました。</p> <p>【博物館】 市民サークル「城山古文書会」へ、助言者として学芸員が参加し、より正確性の高い学習機会を確保しました。</p>	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>【中央公民館】 ○毎年実施しているサークルフェスティバルには多数のサークルが参加し、それぞれのサークルの活動状況を説明し合うことで、サークル間や個人間の交流や親睦が促進され、サークル活動の活性化に繋がっています。</p> <p>▲サークル参加者の高齢化が進んでいます。</p> <p>【博物館】 ○自主的な学習機会などの市民の自己表現の場としての活動に寄与しました。</p> <p>▲博物館講座の受講生が組織したサークルであり、活動の自主性、継続性を確保します。</p>	

生涯学習ボランティア制度の充実	<p>学校への支援や多様化する学習ニーズに対応するため、市民の豊富な知識や経験等を活用するための仕組みづくりを進めます。</p>	生涯学習課 博物館
【実施状況】	<p>【生涯学習課】 市民の豊富な知識や経験等を活用し、学校支援事業や出前講座事業を実施しました。</p> <p>【博物館】 ミュージアムサポーター「甲冑士」による歴史体験教室「甲冑を着よう」を開催しました。 毎月第2、第4日曜日開催 年19回 参加者数102人 ミュージアムサポーター「絵図士」による文化財マップ作成を実施し、博物館ホームページ内のフィールドミュージアムで公</p>	

	<p>開,印刷物の館内配付,博物館内での展示を実施しました。 マップ作成数 3件 ・関東大震災(館山市・南房総市本織) ・弘法大師伝説(安房郡域) ・日蓮伝説(安房郡域) 文化財マップ展 6回(上半期4回,下半期2回)</p>
<p>【成果と課題】 【○成果 ▲課題】</p>	<p>【生涯学習課】 ○学校支援活動においては学習支援,環境美化が図られました。また,本事業を通じて市民の学びの還元を図る機会を提供することができました。 ▲豊富な知識・経験を有する市民は潜在していると考えられますが,それら人材のより一層の活用を図ることが課題です。 【博物館】 ○地域人材の活用によるボランティアの拡充,博物館事業の充実を図りました。 ▲適正な知識を習得する適正な研修会の開催が必要です。 ▲ボランティアの高齢化に伴い,定期的な事業を行うための人材確保が難しくなっています。</p>

第4節 歴史の継承と文化の振興

基本方針

- 寺社,史跡,歴史的建造物や民俗芸能,博物館が収蔵する歴史文化遺産の活用により,観光やまちづくりなど,地域の活性化につながる取組を進めます。
- 市民自らが,主体的に芸術文化活動ができるように,発表する場の提供や情報提供に取り組んでいきます。

(1) 歴史・文化の保存・継承

計画事業名	事業内容	担当課
郷土に関する展覧会・講座等の充実	歴史文化遺産の展示公開や郷土の魅力を理解する講座の拡充を図ることにより,郷土に対する誇りや愛着心がはぐくみます。	博物館 中央公民館
【実施状況】	<p>【博物館】 <常設展示> 本館:館山,安房地方の歴史と民俗 分館(渚の博物館):房総半島の海と生活 八犬伝博物館(館山城):南総里見八犬伝の世界 <企画展・特別展> ①新収蔵資料展「あたらしい資料のご紹介」</p>	

	<p>(4/27～6/23 入館者 10,700 人)</p> <p>②館山駅開業 100 周年記念展「鉄道がまちにやってきた」 (7/28～11/24 入館者 10,096 人 ※③と同時開催)</p> <p>③市制施行 80 周年記念展「館山の昭和と平成」 (7/28～3/22 入館者 19,045 人 ※②と同時開催)</p> <p>④「デジ文展ーデジタル化による地域の文化財の可能性ー」 (2/15～2/28 入館者数 1,805 人)</p> <p><普及事業></p> <p>歴史体験教室「甲冑を着よう」 (毎月第 2, 第 4 日曜日開催 年 19 回 参加者数 102 人)</p> <p>歴史教室「古文書を読んでみよう」 (全 10 回×3 クラス, 受講生 109 人)</p> <p>歴史教室「活弁八犬伝」 (全 2 回, 参加者数 23 人)</p> <p>図書館博物館合同企画「なつやすみ宿題大作戦」 (7/30・8/6 参加者数 12 人)</p> <p>展示解説会 (全 3 回 参加者数 38 人)</p> <p>【中央公民館】 一般市民を対象に、「ふるさと講座」については、地域の歴史や文化、自然のほか、その時期に即したテーマの講座を 5 回実施しました。 「安房地区公民館連携講座」は安房の 3 市 1 町が各 1 回ずつ担当し、年 4 回実施予定でしたが、うち 2 回が台風の影響により中止になりました。</p>
<p>【成果と課題】 【○成果 ▲課題】</p>	<p>【博物館】 ○地域の歴史資料や文化財を展示、公開することにより、郷土を知る手がかりを提供しました。 ○市民の歴史への興味や関心に応え、情報発信するとともに、専門家による解説を通じて正確な情報理解がなされるように努めました。 ▲市内に埋もれている歴史資料を恒常的に掘り起こし、活用する方法を工夫することが必要です。</p> <p>【中央公民館】 ○「ふるさと講座」、「安房地区公民館連携講座」に参加し、郷土に関する知識を得たことで、参加者の「ふるさとへの愛着」がはぐくまれました。 ▲参加者の多くが高齢者であり、勤労者世代の参加者が少なくなっています。</p>

郷土資料の収集・保存と提供	歴史文化など地域資源の情報発信や地域課題の解決という視点から、郷土資料の収集・保存と情報提供機能の充実を図ります。	博物館 図書館
【実施状況】	<p>【博物館】 令和元年度資料収集点数 3,960 点 令和元年度末保有資料 約 94,384 点</p> <p>【図書館】 ・図書を中心に、館山・安房地域にゆかりのある作家の著作や歴史・伝統文化に関する資料や行政資料などの郷土資料の収集・整理・提供を行いました。</p>	

	<p><令和元年度> 郷土資料所蔵点数 7,572 点 郷土資料貸出点数 313 点 ・市制80周年に伴い、郷土資料を活用した館山の歩みについての企画展示を行いました。</p>
<p>【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕</p>	<p>【博物館】 ○所有者の関心低下や建物取り壊しなどで歴史的な地域文化が滅失していく傾向がある中で、保護すべき資料の収集により、提供すべきふるさと情報の根幹資料を確保しました。 ▲実物資料の収集には収蔵スペースが有限であるという制限があるため、収蔵スペースの有効活用と拡大が必要です。</p> <p>【図書館】 ○一般流通していない郷土資料や行政資料についても、寄贈等により広く収集を行いました。 ○企画展示という形で、郷土資料にふれる機会を提供することで、地域への興味や理解を促しました。 ▲郷土の歴史を未来に伝えていくために、継続的な郷土資料収集・保存を行い、利活用を図りながら継承していく必要があります。</p>

博物館機能の充実	博物館本館・館山城・渚の博物館，それぞれの特色を活かしつつ，効率的な運営方法を検討します。	博物館												
【実施状況】	<p><指定管理者制度導入> 令和元年12月1日から，博物館本館，八犬伝博物館(館山城)，渚の博物館，都市公園において，指定管理者による運営，維持管理を導入しました。 指定管理者 株式会社塚原緑地研究所 代表取締役 塚原 道夫 期 間 令和元12月1日～令和6年11月30日 但し，延長条件により更に5年間の期間延長可</p> <p><施設設備の維持管理> 老朽化や故障に対応し，施設設備の修繕等を実施しました。</p> <table border="0"> <tr> <td>本館</td> <td>男子トイレ大便器修繕</td> <td>16,280円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>浄化槽蓋交換</td> <td>91,800円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>浄化槽定水位弁修繕</td> <td>38,448円</td> </tr> <tr> <td>八犬伝博物館</td> <td>案内看板修繕</td> <td>93,960円</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">外</p> <p><不可抗力による一時休館> 台風被害対応，新型コロナウイルス感染症拡大防止のため，一時休館を実施しました。 台風15号・19号被害対応 令和元年9月9日～30日，10月12日～13日 24日間・うち通常休館日4日 新型コロナウイルス感染症拡大防止 令和2年2月29日～3月31日 32日間・うち通常休館日5日 ※5月31日まで休館延長</p>	本館	男子トイレ大便器修繕	16,280円		浄化槽蓋交換	91,800円		浄化槽定水位弁修繕	38,448円	八犬伝博物館	案内看板修繕	93,960円	
本館	男子トイレ大便器修繕	16,280円												
	浄化槽蓋交換	91,800円												
	浄化槽定水位弁修繕	38,448円												
八犬伝博物館	案内看板修繕	93,960円												

<p>【 成果と課題 】 【○成果 ▲課題】</p>	<p><指定管理者制度導入> ○指定管理者による以下の業務と連携を図り、より魅力的な施設とするため適正な管理運営を実施しました。 本館 …受付業務 館山城 …受付業務, 施設運営業務, 維持管理業務の一部 渚の博物館…受付業務</p> <p><施設設備の維持管理> ○設備更新, 施設設備の延命化と適正な機能保全に努めました。 ▲施設等の老朽化が進む中, 適正な維持管理を実施し, 博物館入館者に対し快適な空間, 環境を提供することが必要です。</p> <p><不可抗力による一時休館> ○施設閉鎖により, 新型コロナウイルス感染拡大の防止に努めました。 ▲コロナ過の社会が継続し休館措置が余儀なくされると, 博物館入館者の減につながり, 指定管理者の利用料金収入に影響を及ぼします。 休館措置だけでなく, 入館者の安全, 衛生対策を講じた新しい博物館運営方法を構築していく必要があります。</p>
--------------------------------	---

<p>文化財の保存・活用</p>	<p>文化財の調査・指定により, 修復や防災対策等, 保存に必要な措置を計画的に行います。 また, 活用を図るため, 広く市民が文化財に親しむ機会を提供します。</p>	<p>生涯学習課</p>
<p>【 実施状況 】</p>	<p>・文化財を説明するための看板等の整備事業を推進し, 新たに指定された文化財の説明看板を2箇所設置しました。 ・台風で破損した文化財説明看板2箇所と案内看板5箇所の復旧を行いました。</p>	
<p>【 成果と課題 】 【○成果 ▲課題】</p>	<p>○指定文化財等の説明看板を整備することにより, 来訪者に対する文化財への理解を深めることができました。 ▲国・県・市の指定文化財や登録文化財を合わせると100箇所以上となるため, 巡回等により計画的に看板の設置や補修を図っていく必要があります。</p>	

<p>観光スポットとしての歴史文化遺産の活用</p>	<p>寺社, 戦国大名里見氏, 青木繁「海の幸」, 近代の戦争遺跡等に関連する歴史文化遺産や市内から輩出した偉人などを観光やまちづくりに活かします。</p>	<p>生涯学習課</p>
<p>【 実施状況 】</p>	<p>赤山地下壕跡については, 令和元年度は台風や新型コロナウイルスの影響により休壕せざるを得ない期間があったため, 21,260人の入場にとどまりました。</p>	
<p>【 成果と課題 】 【○成果 ▲課題】</p>	<p>○赤山地下壕跡については, 平成16年の一般公開以来, 入場者が増加し, 平成30年10月には累計30万人に達しました。観光客にも手軽に見学できる施設として人気が高まっています。 ▲平成29年度から受付業務を委託したため, 受託者との連携が必要となります。また, 施設についても入場者数の増加に対</p>	

	応じた整備が必要となります。
--	----------------

民俗芸能伝承者の育成	民俗芸能大会への出演支援や継承のための映像記録作成により、伝承者の育成を図ります。	生涯学習課
【実施状況】	平成30年度には、民間助成金を利用し地域伝統芸能保存事業として「館山市の御船歌」の映像記録と映像記録解説書を作製し、関係団体に配布しました。また、令和元年度にはふるさと講座において、映像記録の上映等講座を開催しました。	
【成果と課題】 【○成果 ▲課題】	○地区の伝承されている祭礼の保存に対する補助及びパンフレットによる紹介に対する補助を行うことにより地域コミュニティの活性化と観光資産としての活用が図られます。 ▲少子高齢化により伝承者が減少し後継者の育成が難しくなっています。また、活動していくうえでの資金が不足しています。	

国史跡「里見氏城跡 稲村城跡」の保存・整備	地権者や地域住民、市民団体と連携し、適切な保存管理を行います。 また、広域連携により、国史跡「里見氏城跡」の整備・活用による地域活性化に向けた検討を行います。	生涯学習課
【実施状況】	稲村城跡の整備のため、地区に対する業務委託事業として草刈り等の環境整備を行っています。また、臨時駐車場の稲市有地から稲村城跡までの案内看板を制作し、設置しました。	
【成果と課題】 【○成果 ▲課題】	○国指定史跡としての稲村城跡の整備を行うことにより、史跡に対する地域の理解と、来訪者に対する観光資産としての活用を図ることができました。 ▲史跡として整備していくためには権利関係の整理が必要です。また、南房総市にある国史跡岡本城との連携した整備も必要となります。	

ふるさと情報の発信強化	館山市の歴史文化等の情報について、ホームページで発信している「ふるさと百科たてやま大事典」を、「たてやまフィールドミュージアム」に統合し、さらなる利便性の向上と地域の魅力発信に努めます。	博物館
【実施状況】	博物館が調査、収集した地域の歴史、民俗等の情報を、「たてやまフィールドミュージアム」として公開し、蓄積しました。なお、旧来のサーバーは、老朽化により、適正な作動が見込めないため、別のサーバーへの移転を実施しました。また、文化庁「文化遺産オンライン」で当館収蔵資料の一部を公開しました。	
【成果と課題】 【○成果 ▲課題】	○インターネット上で公開することにより、館山市の歴史や文化に関する情報資産を活用できるようにしました。 新型コロナウイルス感染症対策として、在宅で博物館情報を得られる「おうちミュージアム」を博物館ホームページに開設しました。	

(2) 文化の振興

計画事業名	事業内容	担当課
芸術文化活動の充実	「館山市文化祭」、「館山市サークルフェスティバル」など、芸術文化活動の発表の場を提供し、市民の自主的な活動を支援します。	生涯学習課
【実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> ・市民に優れた文化鑑賞の機会を提供するため、音楽鑑賞協会・芸術文化協会・茶道連盟の活動に対して補助を行いました。 ・館山市サークルフェスティバルについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。 	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○各団体に対し補助を行うことにより、円滑な事業の実施ができ、市民に対し優れた文化鑑賞等の機会を提供することができました。</p> <p>▲各団体の高齢化による会員の固定化や減少があり、団体組織の活性化が課題となっています。</p>	

全国大学フラメンコフェスティバルの開催	館山市の温暖な気候と、「学生フラメンコのまち館山」といったイメージを情報発信し、学生フラメンコをきっかけとした交流人口の拡大を図ります。	生涯学習課
【実施状況】	全国の大学生等と連携し、他に類の無いイベントである全国大学フラメンコフェスティバルや関連事業の花火とフラメンコ等を実施しました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○市外等から来場者を迎えることで交流人口・交流人口の拡大や参加者間の交流が図られ、フラメンコを通じた交流人口の拡大に繋がりました。</p> <p>▲参加者が年々減少していく傾向にあり、また、特定の関係者の尽力により維持している部分もあり、今後の事業の継続に対する対策が必要となります。</p>	

第5節 スポーツ振興によるまちづくり

基本方針

- 市民が生涯を通じてスポーツに触れ合う機会を提供し、市民の健康維持や、活力ある社会の実現を目指します。
- 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会によるレガシー（遺産）を見据えたまちづくりを推進します。
- スポーツ観光を推進し、スポーツによる交流人口の拡大を目指します。

(1) 市民スポーツの振興

計画事業名	事業内容	担当課
生涯スポーツの機会 拡充	「館山ファミリースポーツクラブわかしお」の活動支援や、各種スポーツ大会の開催など、スポーツに親しむ機会を提供し、市民の健康・体力の保持増進を図ります。	スポーツ課
【実施状況】	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員等と連携し、高齢化社会に対応した生涯スポーツを推進しました。 ・総合型地域スポーツクラブ「館山ファミリースポーツクラブ“わかしお”」の活動を支援しました。 ・オーシャンフェスタ館山や南房駅伝大会等のスポーツ大会を開催し、スポーツに親しむ機会を提供しました。 	
【成果と課題】 【○成果 ▲課題】	<p>○スポーツ基本法において、国民の心身の健全な発達、明るく豊かな国民生活の形成、活力ある社会の実現などが目的とされており、市民がスポーツに関わることにより、健康体力保持増進が図られ、社会全体では医療費の抑制による財政健全化や地域経済、コミュニティの活性化など多様な効果が期待できます。</p> <p>▲スポーツ推進委員の確保、指導者の減少及び高齢化が課題となっています。</p>	
社会体育団体の育成 支援	社会体育団体の育成・支援を通じ、市民の健康体力の保持増進や競技力向上、青少年の健全育成等を図り、活力ある社会の実現を目指します。	スポーツ課
【実施状況】	館山市スポーツ協会（24団体・会員約3,800人）、館山市スポーツ少年団（30団体・団員435人・指導者146人）への補助金を交付し、活動を支援しました。	
【成果と課題】 【○成果 ▲課題】	<p>○館山市スポーツ協会及び館山市スポーツ少年団の活動は、生涯スポーツ・競技スポーツの振興、青少年の健全育成等、活力に満ちた社会づくりに大きく貢献されることが期待できます。</p> <p>▲少子高齢化により会員数が減少傾向となっています。</p>	
社会体育施設の整備 充実	生涯スポーツの推進のため、既存施設の適切な維持管理・整備を行い、利用者の利便性・	スポーツ課

	安全性の確保に努めます。	
【実施状況】	施設の維持管理、整備のため、50mプールろ過装置修繕工事、出野尾多目的広場野外時計修理、温水プール雨漏り改修工事を実施しました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○施設の改修等、維持管理を行い、利用者が安全安心に利用できる環境づくりに努めました。 ▲施設の老朽化や耐震補強など、今後、大規模改修が必要な施設があり、施設の存続やあり方等を検討していく必要があります。	

学校体育施設開放	小・中学校の体育館・グラウンド・プール等を市民に開放し、市民の健康増進や体力づくり、地域に密着したスポーツ・レクリエーション活動の推進を図ります。	スポーツ課
【実施状況】	小学校8校及び中学校4校の体育館・グラウンド・武道館、小学校8校のプール等の学校体育施設をスポーツ少年団やスポーツ愛好団体等に対して開放事業を行いました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○学校体育施設の開放により、スポーツ少年団やスポーツ愛好団体など様々な市民のスポーツ活動の場を提供し、生涯スポーツを推進しました。 ▲学校体育施設の利用に当たって、施設の破損、喫煙、ゴミ処理などの利用マナーについて、徹底していく必要があります。	

(2) スポーツ観光の推進

計画事業名	事業内容	担当課
オリンピック・パラリンピックのレガシー(遺産)を見据えたまちづくり	観光施策と融合したスポーツ観光を推進し、館山湾をはじめとする自然環境や既存施設等の有効活用により、対応可能な競技の事前キャンプ等の誘致を進めます。 さらに、市民のスポーツへの関心を高め、健康増進や体力づくり、競技力の向上に努めます。	スポーツ課
【実施状況】	・これまでの誘致活動が実を結び、オランダ・USAトライアスロンが、館山市内で、事前キャンプを実施しました。実施後の評価もよく、延期となった2020東京オリンピックでも事前キャンプが予定されています。 ・日本水泳連盟のOWS競技(日本選手権)が館山市で開催されました。	
【成果と課題】 〔○成果 ▲課題〕	○オランダ・USAトライアスロンが事前キャンプを実施しました。選手がキャンプの状況をSNSなどで発信したことなどにより、館山市を世界中にアピールできました。その後も、自転車愛好家などの来館者は多く、交流人口が活発化しています。 ▲オリンピック終了後もスポーツ観光の推進や競技団体等との関係性を継続していく必要があります。	

館山若潮マラソン大会の魅力向上	大会環境の向上とスポーツボランティアの育成・拡大に努め、大会参加者・地域住民な	スポーツ課
-----------------	---	-------

	どのニーズを可能な限り反映した大会運営を行います。	
【 実施状況 】	<p>・近年の申込者数と参加者数は、平成28年度（37回大会）が申込者数／11,817人・参加者数／10,457人、平成29年度（38回大会）が申込者数／11,335人・参加者数／9,886人、平成30年度（39回大会）が申込者数／11,252人・参加者数／9,799人、令和元年度（40回大会）が申込者数／10,575人・参加者数／7,815人となっており、安房地域最大のスポーツイベントとして定着しています。</p>	
【 成果と課題 】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○9年連続で申込者数が1万人を超える人気の大会となっています。市民も市外の方もランナーやボランティア等様々な形で参加しており、市民の健康体力保持増進と、宿泊等による経済波及効果やPR効果等の観光振興に大きく寄与しています。 ▲市職員の高負担、少子高齢化による大会役員及びボランティアの減少、物価の高騰、物品等の調達困難、参加ランナーの減少等が課題となっています。</p>	

スポーツイベントの開催	自然環境や既存体育施設等を最大限に活かし、スポーツ愛好者からトップアスリートまで、幅広い層の交流人口の拡大を目指します。	スポーツ課
【 実施状況 】	<p>・剣道について、千葉県小学生剣道大会（68チーム）、全国高校剣道大会（82チーム）を開催しました。（関東中学生剣道大会は台風直後のため中止） ・館山わかしおトライアスロン大会（1,193人）を開催しました。 ・上記の他、館山オープンウォータースイムフェスティバル等、各種スポーツイベントを支援しました。</p>	
【 成果と課題 】 〔○成果 ▲課題〕	<p>○古くから剣道が盛んな地であることを生かし、小学生は県内、中学生は関東、高校は全国からの参加、またトップアスリートが出場するトライアスロンやオープンウォータースイミング等の大会の開催、支援により交流が図られています。 ▲少子化に伴う地元剣道競技人口の減少、学校統廃合による審判員の確保が課題となっています。</p>	

Table 1: Summary of the study design and participant characteristics.

Group	Sample Size (n)	Age (Mean ± SD)	Gender (Male/Female)	Education Level	Occupation
Control Group	25	22.5 ± 1.5	15/10	High School	Student
Intervention Group	25	22.5 ± 1.5	15/10	High School	Student

The table contains several rows of text that are extremely faint and difficult to read. The text appears to be a detailed description of the study's methodology, including information about the participants, the intervention, and the data analysis. The text is organized into columns, likely corresponding to the variables listed in the table header. The overall layout is that of a scientific paper or report.